

注意事項

- 設定や操作に関する詳細については療法器具の取扱説明書を参照してください。
- マスクの技術仕様は臨床医がそれが療法器具に対応しているものかどうかをチェックできるように提供されています。仕様に反した使われ方をされた場合、マスクの密閉効果や快適さが有効に作用しないおそれがあり、最適な療法が実現できないおそれがあり、リークやリーク率のばらつきが器具の機能に影響を及ぼすおそれがあります。
- マスク上で肌もたらす汚れや脂が溜まることを防ぐため、マスクを一日置きに洗浄する必要があります。
- マスクを承認されていない洗浄方法や除菌方法で洗浄しないでください。
- 使用者はマスクの装着の前に顔を洗う必要があります。
- 患者がマスクのデザインを変更してはいけません。
- マスクを乾燥機に入れしないでください。

禁忌事項

- なし

技術仕様

- 療法の圧力範囲：4 ~ 20 cmH₂O
- 22mm スイベル接続
- 抵抗（圧力低下）
@ 50 lpm = 0.4 cmH₂O
@ 100 lpm = 1.0 cmH₂O
- 固定リーク割合（製造のばらつきが原因でフローが異なる場合があります）：

圧力 (cmH ₂ O)	4	5	10	15	20
フロー (lpm)	14	16	25	33	40

- 環境に配慮した保管や操作の状態がこの器具の機能に影響を与えることは想定されていません。
- 音量
 - 加重音響パワーレベル, 26 dBA
 - 加重音圧レベル @ 1m, 18 dBA
- この器具は通常の使用や洗浄の仕方であれば最低90日間性能を維持するはずですが。
- 器具は天然ゴムラテックス製ではありません。

限定保証 www.circadiance.com/help

EMERGO EUROPE
Prinsessegracht 20,
2514 AP The Hague,
The Netherlands

CE
0459

Circadiance の製品に該当する特許と商標については、www.circadiance.com/IP にてご確認ください。

101440 REV 6

Circadiance

SleepWeaver
Soft Cloth Masks

Advance Pediatric

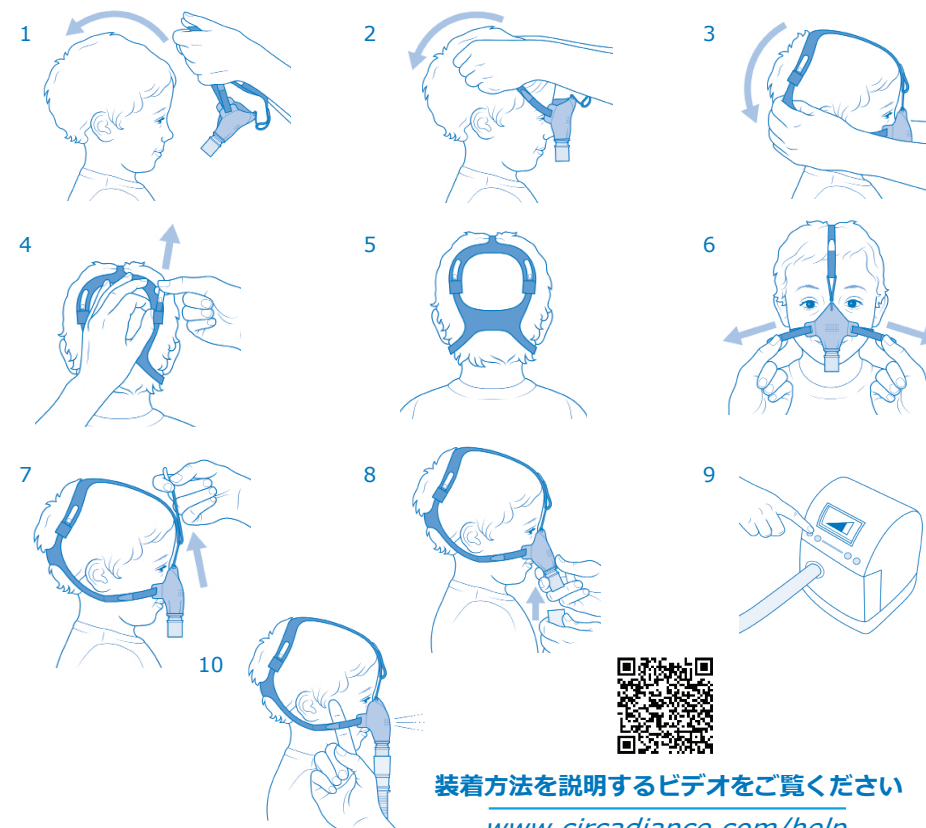
取扱説明書

日本語

用途

この SleepWeaver マスクは、経鼻的持続陽圧呼吸療法（CPAP）または二相性陽圧呼吸療法に対するインターフェイスを提供するものです。このマスクは家庭および病院/医療機関での単一患者による再利用を念頭としたものです。このマスクは2歳から7歳の年齢の患者を対象としています。

マスクフィッティング



Circadiance

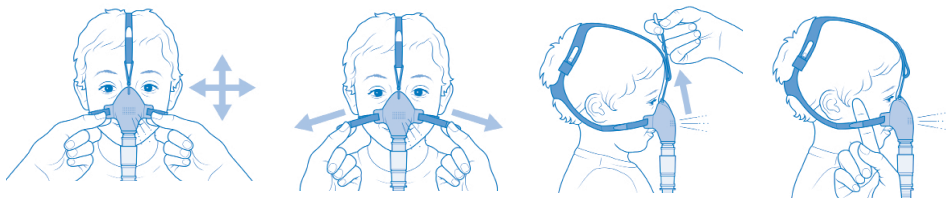
所在地: 1010 Corporate Lane Export, PA 15632
電話: 888-825-9640 or +1 724-858-2837
info@circadiance.com www.circadiance.com

マスクの装着、続き

1. パッケージを開いてスリープウィーバー高度小児用マスクを取り出します。
2. 両手でヘッドギアを押さえ患者の鼻の上にマスクを置き、ヘッドギアを患者の頭部へ引っ張ります。マスクのカップ部分が鼻の中央に来るようにして、正面上部の調整つまみが頭部中央に来るようにします。
3. リアヘッドギアストラップがむらなく均一になるように調整してヘッドギアのトップループが患者の後頭部に収まるようにします。
4. ストラップの両側を均一にして、ストラップが両耳の下にぴったり合うようにします。また、中央のヘッドストラップが患者の顔にぴったり合うように調整します。注記: いつでもマスクが鼻や口をふさがないように注意してください。
5. ご使用のCPAPまたはバイレベル装置のホースを、マスク前面の回転式コネクタに接続します。
6. CPAPまたはバイレベル装置を、患者に処方した圧力でスイッチを入れます。
7. 空気が漏れる場合は、「空気漏れの調整」セクションを読んでください。
8. 通常の就寝の姿勢になって、必要であればマスクの生地が肌の防壁になるようマスクの位置を変えます。調整におけるもう一つのヒントは以降のセクションに記載されており、また詳しい装着説明ビデオを www.circadiance.com/help にて視聴することができます。

空気漏れの調整 - 空気が漏れる場合は、この手順を踏んでみてください。

1. CPAPまたはバイレベル装置を、患者に処方した圧力でスイッチを入れます。鼻上のマスクをつまんで、顔から少し離すようにあごの方向にマスクを引っ張って、そとマスクを離します。
2. マスクの側面から空気が漏れる場合、サイドストラップの青いつまみを外し、サイドストラップを調整してマスクを張り、再び青いつまみをサイドストラップに取り付けます。
3. 患者の片方の目または両方の目に空気漏れがある場合、中央ヘッドストラップを調整します。
4. 場合によって、マスクを少し緩めてから、手順1.を繰り返すと空気漏れがなくなってよりよくフィットすることがあります。
5. 空気漏れは、ヘッドギアストラップがきつすぎたり、緩みすぎたりする場合に生じることがあります。練習すれば、患者にぴったりとした心地よいフィット感が得られるようになります。



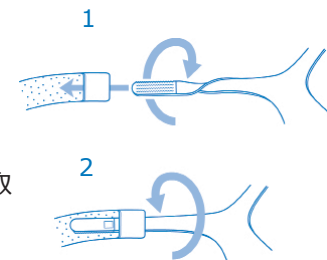
自宅療養における洗浄方法 - 患者個人使用の場合

1. マスクは一日置きにぬるま湯の中で研磨剤の入っていない手に優しい石鹸で手洗いしてください。直射日光で自然乾燥させます。
2. ヘッドギアは毎週手洗いするようにしてください。
3. 一定期間ご使用になると、マスクと接続コネクタを接着しているテープの粘着力が弱まる場合があります。その場合は、テープを交換してください。
4. 接続コネクタは、ラテックスフリーの医療用テープによってマスクに接着されています。接続コネクタを別途洗浄する場合は、コネクタをマスクから外し、酢と水を1:3（水1カップに対し、酢を1/3カップ）で合わせた酢液に浸してください。
5. 接続コネクタは、酢液に浸したあと、よくすすいで、乾かしてください。
6. 接続コネクタを、ラテックスフリーの医療用テープで、再度マスクに接続してください。
（スイベルの再度の取り付けに関する説明は www.circadiance.com/help にてオンラインで確認することができます）

ヘッドギアの再組み立て

注記: ヘッドギアを洗浄するのに分解する必要はありません。

1. 平らな面に、白いつまみを下に向け、黒いつまみを上に向けヘッドギアを置きます。
2. 後部の白い調整つまみの1つをループに通し、面ファスナーのつまみをストラップに取り付けます。これを簡単に行うには、白いつまみストラップをひねって、面ファスナーを上向きにして、ループの中を通るヘッドギアにくっつかないようにします（図1を参照）。
3. ストラップのひねりを戻して、平らにし、ヘッドギアストラップに取り付けます（図2を参照）。もう1つの白いストラップについて、ステップ1~3を繰り返します。
4. トップ正面の調整つまみをマスクのゴムバンドに通し、ストラップに取り付けます。
5. 2つの青い調整つまみをマスクの両翼に通して取り付けます。



警告

- 器具は通気式マスクであり、二重枝式人工呼吸回路と併用してはいけません。
- このマスクやヘッドギアのいずれかの箇所に對し何らかの抵抗がある場合、直ちに使用を控えてください。
- この装置は療器具が起動され適切に作動していないかぎり使用しないでください。
- 通気孔を決して塞いだりしないでください。
- マスクが正しく装着されていることを確認してください。マスクとヘッドギアがこれらの説明書の第一面に示されているように組み立てられ配置されていることを確認してください。
- 装置の構成部に何か目に見える不具合が生じた（亀裂、部品の破損、裂け目など）や、洗浄後でも部品が綺麗にならない場合、その部品を廃棄し交換する必要があります。
- これらの説明事項に規定されている以外の方法でこの製品を洗浄するためにお手入れの頻度、方法や洗浄剤を変えることは、マスクにダメージを与える可能性があり、結果的に療法の安全性や質を損なうおそれがあります。
- マスクが補充用酸素と併用されている場合、装置が作動していない時は酸素フローを遮断する必要があります。蓄積した酸素には引火の危険性があります。
- この製品は単一患者による再利用に限定されたものであり、臨床現場における再処理（洗浄および除菌の方法）に関する承認を受けていません。家庭や病院の両方の環境において、これらの説明事項に規定された洗浄方法を用いる必要があります。
- マスクを解体するときは、アクセサリと部品が小さなお子様の手の届かないようにしてください。小さな部品でのどを詰まらせる場合があります。小さな部品を飲み込んだ場合は、直ちに治療を受けてください。
- 酸素は燃焼を加速させるため、火のそばで酸素を使用してはいけません。酸素は十分な換気を行っている部屋でのみ使用してください。また、本製品の使用中にタバコは使用しないでください。特に補助用の酸素の使用中は使用できません。
- このマスクは、中程度のストラップ張力によって漏れのない気密性が得られるように設計されています。張力を高くすると、長期の使用で顔に変形が生じる可能性があります。臨床医による患者の成長パターンの検証とさまざまなスタイルのマスクの使用を推奨します。
- マスクは、自分で外すことのできない患者に代わって、的確な監視下で使用する必要があります。
- マスクは誤嚥しやすい患者には適しません。
- マスクが重篤な先天性症状や認識機能障害のお子さんに処方された場合、適切なアラーム付きの装置を使用することを推奨します。療法を開始する前に、アラームを含めた完全な患者サイクルの正常動作をテストする必要があります。
- マスクの使用によって、歯茎やあご、歯の痛みが生じたり、歯の既往症状が悪化したりすることがあります。症状が出た場合、患者の医者または歯医者の診察を受けてください。
- 取り付け時や使用中は常に、鼻のクッションが鼻孔をふさがないように注意してください。
- ベッドの頭側に空気ホースを長く伸ばしておかないように注意してください。就寝中に、患者の頭や首に絡みつく可能性があります。